

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変時や事故が起こった際の対応に個人差があり、不安を感じる人が多い	スタッフ全員が急変時でも慌てず、落ち着いた対応ができる	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの実施 ○マニュアルの見直し ○定期的な勉強会の開催(シュミレーションも含む) ○研修等への参加→情報伝達の実施 	6ヶ月
2	13	様々な研修会等に参加しているが、全スタッフへの情報共有ができていない	ケアの知識を全体で共有することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の報告・意見交換の場を設定する ○研修資料の回覧・周知を行う 	12ヶ月
3	35	年2回の避難訓練を実施しているが、地域との協力体制ができていない。また、隣接する施設との協力体制も不十分である	周囲の協力を得て、安全に避難・誘導ができる	<ul style="list-style-type: none"> ○火災・災害時の対応マニュアルの見直し ○隣接する施設との協力体制の確認(訓練参加の依頼・実施) ○ご家族様・地域の方々への参加の呼びかけ(運営推進会議の活用) 	12ヶ月
4	2	今年度に入り、高齢者サロンへの参加したり、畑作りを通して近隣の方との交流が図れたりしてきている。また友人等の面会の機会も多くなってきており、以前より地域の方と接する機会は増えてきているが、交流の機会はまだまだ少ない	地域との交流の場を作っていく	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な高齢者サロンや地域行事への参加 ○ボランティアの依頼 ○友人の方等への面会の声かけ ○笑顔のPR(広報誌等の作成) 	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。